

【月刊HMレポート：Vol. 299】 2026 年 8 月号

【可能性拡大と困難克服のマネジメント】シリーズ

このレポートは経営者および経営幹部の皆様のために作成されています！



生産性の指標管理だけでは見えて来ない

生産性向上を業績に直結させる意外な鍵^{かぎ}

◇◆◇ お互いに無関心な組織に真の生産性は生まれない？ ◇◆◇

◆本レポートの内容◆

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| 【1】 1つの現場での生産性向上運動が招いた光と影 | 1 分 |
| 【2】 部分的な生産性向上では“業績好転”は難しい | 2 分 |
| 【3】 たとえ部分的でも“他者”の協力が加わると... | 3 分 |
| 【4】 指標の改善だけでは語り切れない生産性の課題 | 4 分 |
| 【5】 指標改善以外の行動を促進する組織文化の効用 | 5 分 |

生産性向上は、当然“業績改善”に繋がるはずですが、実際には、かえって“損失”の方が拡大してしまうことさえないとは言えません。どうしてそうなってしまうのでしょうか。そして、せっかくの生産性向上を“業績改善”に直結させるためには、どうすれば良いのでしょうか。

ある経営者の勉強会で“体験発表”を行った経営者の話に、その重要な鍵^{かぎ}がありそうなのです。しかもその鍵^{かぎ}は、私たちが知らず知らずのうちに持ってしまう思い込みの排除にあるようなのです。事例でご確認ください。



社会保険労務士法人 OFFICE KANEKO

TEL : 04-2944-3895

FAX : 04-2944-3627

Mail : info@office-kaneko.net

URL : <http://www.office-kaneko.net>

SRヒューマン・マネジメント研究会

私どもでは、人材や組織管理に関わる業務を通じて、広く皆様方のマネジメントをご支援いたしております。そうした活動から得た様々な考え方等を、当事者の皆様にご了解を頂いた上で、事例としてご提供しています。